## 入院診療計画書ー胃の手術を受けられる患者様へー

患者氏名		<b></b>				症状			
						病棟		特別な栄	養管理の有無 🔽 有 🗌 無
		入院~手術前々日	手術前日	手術前	析当日   術後	術征	<u>└</u> 後1日~2日目	術後3日~7日目	術後8日目~退院まで
目	標	□ 手術の説明を受け同意して	ている	□ 手術後の安静が理解でる □ 創部の安静が保持できる	きる	□ 創部□ 食事	のコントロールができ の感染がない を開始し5割以上摂 の形態を徐々にアッ	取できる	□ 食事を5割以上摂取出来る □ 退院後の生活上の注意点を 理解できる
検	査				□ 手術後に採血があります	口 手術	後、1日目·3日目·5	日目に採血があります。それ	
処		□ 歯科受診があります □ 頚部または上肢から持続が	おこないます(手術当日に着用します 点滴用の針を入れます(状況により手 (お持ちの方はお知らせ下さい)		<ul><li>□ 酸素・心電図モニター 肺塞栓予防のための 機械を使用します (状況により異なります)</li><li>□ 鼻から胃まで管が 入ります</li></ul>	□ 胃管□ 酸素	傷のチェックがありる を抜きます ・心電図モニターが 目前後に身体の管が	外れます	□ 傷の観察をします
3	<b>薬</b>	□ 内服薬を持参してください						□ 主治医の許可があれば 持参薬を再開します	
点滴					□ 手術後10日目まで持続点 □ 場合により、手術後2日目	から高カロリーの点滴になることがあります			
食事			□ 夕食後より絶食です □ 水の飲める方は21時から 午前手術の方は1本 午後手術の方は2本 OS-1を内服していただきます			許可	後1日目診察後 があれば ができます	□ 手術後4日目より食事が 始まります (流動食から徐々に 形態が変わります)	
安静度				□ 病棟内のみ 歩行可能です	□ ベット上安静です	□ 安静	□ 安静制限は徐々になくなります		
ケア	清潔	□ マニキュアや ペディキュアは 落としてください	<ul><li>□ おへその処置をします</li><li>□ 入浴していただきます</li><li>(病衣を希望される方はお知らせください)</li></ul>	□ 入浴はできません		口 主治	医の許可があれば゛	シャワー浴できます	□ 主治医の許可が出れば 湯船につかることもできます
	看護				□ 手術中に尿の管と 手術部位に管が入ります	□ 尿の	管を抜きます		
説明	▪指導	□ 主治医より手術の説明がる □ 麻酔科より麻酔の説明がる □ 手術室看護師からの麻酔 □ 輸血同意書を提出してくだ。 □ 中心静脈栄養同意書を提 □ 看護師より説明があります □ 手術後に筋力が落ちない。 入院中続けていきます	あります などの説明があります さい 出してください -					□ 退院までに栄養指導を受けていただきます (都合の良い日を看護師にお知らせください) □ 歯科医師より 継続処置が必要と 説明を受けた方のみ 退院後の歯科受診の 予約をお取りください	□ 主治医の許可があれば 退院できます (ご家族の方と日にちを決めて お知らせください)
*状況により予定が変更になることがあります			ます			担	当医		
				上記内容	字について説明を受けました	担	当看護師		
				(同意	年月日 年 月	日) 本。	人·代理人 署名 _	(続柄	<u></u>
								( 常作 ) ( )	1

病名

尼崎中央病院